



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月2日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4581 URL <http://www.taisho-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 明
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 井内 秀樹 (TEL) 03-3985-2020
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	68,532	△1.3	6,941	△23.8	8,796	△15.6	5,534	△20.3
29年3月期第1四半期	69,431	0.3	9,106	74.0	10,422	39.1	6,945	48.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 10,303百万円 (198.2%) 29年3月期第1四半期 3,455百万円 (△47.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	69.27	69.21
29年3月期第1四半期	86.92	86.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	779,358	669,809	84.0
29年3月期	771,222	665,088	84.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 654,377百万円 29年3月期 649,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	50.00	—	60.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	137,500	△2.5	11,500	△31.0	14,500	△24.2	10,500	△22.2
通期	279,000	△0.3	28,500	△10.8	34,500	△9.3	24,000	△16.6
								300.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	90,139,653株	29年3月期	90,139,653株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	10,235,053株	29年3月期	10,234,456株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	79,905,163株	29年3月期1Q	79,909,749株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期のOTC医薬品市場は、鼻炎治療剤、漢方薬などのカテゴリーが好調に推移し、総体的には前年を上回る結果となりました。

医薬事業につきましては、新薬の創出が困難になりつつあるなかで、医療費適正化諸施策の浸透により、依然として厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、「健康で美しく老いたい」という生活者のニーズに対応すべく、製品開発面では生活者の健康意識の高まりに対応した新しい領域を開拓し、また生活者のニーズを満たす製品開発をより一層進め、新たな需要の創造に努めております。また、販売面では生活者から支持される強いブランドを作るために、生活者との接点の拡大と共感の獲得を目指した活動を実践するとともに、通信販売等の新しいチャネルの拡充による生活者との直接のコミュニケーションにも注力しています。海外市場におきましては、アジアを中心にOTC医薬品の事業開発を積極的に行っております。

医薬事業部門でも、きめ細かい情報提供活動による新薬の売上最大化を図っております。また、開発化合物の早期承認取得を目指すとともに、導入によるパイプラインの強化を進めています。さらに、外部研究機関との連携を強化し、継続的なオリジナル開発化合物の創出に努めております。

当第1四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、685億3千2百万円（前年同四半期比△8億9千9百万円、1.3%減—以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	448億円（+ 18億円	4.2%増）
内訳		
国内	359億円（+ 4億円	1.1%増）
海外	83 〃（+ 14 〃	21.2%増）
その他	6 〃（△ 0 〃	4.5%減）
<hr/>		
医薬事業	237億円（△ 27億円	10.3%減）
内訳		
医療用医薬品	227億円（△ 18億円	7.4%減）
その他	10 〃（△ 9 〃	47.4%減）
<hr/>		

主要製品の売り上げ状況は次のとおりであります。

<セルフメディケーション事業>

当第1四半期連結累計期間売上高は、448億円（+18億円、4.2%増）となりました。

主力ブランドでは、ドリンク剤の「リポビタンシリーズ」は、主力の「リポビタンD」が前年を下回り（6.6%減）、シリーズ全体では146億円（6.3%減）となりました。「パブロンシリーズ」は、主力の総合かぜ薬や鼻炎治療剤がともに前年比プラスとなり、シリーズ全体では46億円（7.9%増）となりました。発毛剤「リアップシリーズ」は、シリーズ全体で37億円（1.9%減）となりました。

一方、アジアを中心に展開中の海外O T C医薬品事業は、51億円（20.6%増）となりました。

<医薬事業>

当第1四半期連結累計期間売上高は、237億円（△27億円、10.3%減）となりました。

主な増収品目は、骨粗鬆症治療剤「エディロール」は62億円（8.0%増）、2型糖尿病治療剤「ルセフィ」は12億円（157.9%増）、経皮吸収型鎮痛消炎剤「ロコア」は8億円（199.5%増）でした。一方、β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤「ゾシン」は28億円（34.3%減）、マクロライド系抗生物質製剤「クラリス」は19億円（14.7%減）、末梢循環改善剤「パルクス」は13億円（13.0%減）と、後発医薬品の影響等もあり前年比マイナスとなりました。

利益面につきましては、広告宣伝費等の増加で販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、営業利益は69億4千1百万円（23.8%減）、経常利益は87億9千6百万円（15.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億3千4百万円（20.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ81億円増加し、7,794億円となりました。投資有価証券が95億円増加しましたが、関係会社株式が12億円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ34億円増加し、1,095億円となりました。未払費用が55億円、繰延税金負債が20億円それぞれ増加しましたが、支払手形及び買掛金が22億円、賞与引当金が18億円それぞれ減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ47億円増加し、6,698億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益55億円、その他有価証券評価差額金53億円が主な増加要因であり、剰余金の配当48億円、為替換算調整勘定13億円が主な減少要因でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月15日公表時から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	201,275	202,113
受取手形及び売掛金	69,535	69,536
商品及び製品	17,196	17,626
仕掛品	2,064	1,850
原材料及び貯蔵品	8,239	8,206
繰延税金資産	5,819	6,617
その他	4,899	6,253
貸倒引当金	△85	△106
流動資産合計	308,946	312,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49,957	49,174
機械装置及び運搬具(純額)	6,372	6,014
土地	37,457	37,033
建設仮勘定	177	185
その他(純額)	3,318	3,182
有形固定資産合計	97,282	95,590
無形固定資産		
のれん	16,768	15,988
販売権	4,068	3,731
商標権	9,966	9,668
ソフトウェア	3,046	3,066
その他	523	665
無形固定資産合計	34,372	33,120
投資その他の資産		
投資有価証券	252,459	261,938
関係会社株式	67,550	66,301
長期前払費用	665	693
退職給付に係る資産	2,496	2,559
繰延税金資産	6,783	6,377
その他	913	926
貸倒引当金	△248	△248
投資その他の資産合計	330,620	338,549
固定資産合計	462,276	467,260
資産合計	771,222	779,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,327	21,108
未払金	13,047	13,669
未払法人税等	5,774	4,460
未払費用	9,997	15,475
返品調整引当金	750	788
賞与引当金	3,854	2,019
その他	1,347	2,198
流動負債合計	58,097	59,720
固定負債		
役員退職慰労引当金	983	987
退職給付に係る負債	23,505	23,484
繰延税金負債	16,130	18,082
その他	7,417	7,274
固定負債合計	48,036	49,828
負債合計	106,134	109,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	15,272	15,272
利益剰余金	644,038	644,775
自己株式	△67,727	△67,735
株主資本合計	621,583	622,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,234	41,562
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△2,195	△3,467
退職給付に係る調整累計額	△6,162	△6,029
その他の包括利益累計額合計	27,875	32,066
新株予約権	478	471
非支配株主持分	15,150	14,960
純資産合計	665,088	669,809
負債純資産合計	771,222	779,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	69,431	68,532
売上原価	25,032	24,232
売上総利益	44,398	44,299
返品調整引当金戻入額	691	714
返品調整引当金繰入額	681	713
差引売上総利益	44,409	44,300
販売費及び一般管理費	35,302	37,358
営業利益	9,106	6,941
営業外収益		
受取利息	1,352	1,209
受取配当金	815	840
その他	178	191
営業外収益合計	2,346	2,241
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	222	361
為替差損	776	-
支払手数料	18	17
その他	14	6
営業外費用合計	1,031	386
経常利益	10,422	8,796
特別利益		
固定資産売却益	10	742
特別利益合計	10	742
特別損失		
固定資産処分損	92	9
特別損失合計	92	9
税金等調整前四半期純利益	10,339	9,529
法人税等	2,846	3,478
四半期純利益	7,492	6,050
非支配株主に帰属する四半期純利益	547	515
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,945	5,534

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	7,492	6,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,149	5,237
為替換算調整勘定	△1,859	△729
退職給付に係る調整額	175	134
持分法適用会社に対する持分相当額	△204	△389
その他の包括利益合計	△4,037	4,252
四半期包括利益	3,455	10,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,010	9,725
非支配株主に係る四半期包括利益	444	578

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,012	26,418	69,431	—	69,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	43,012	26,418	69,431	—	69,431
セグメント利益(注2)	7,022	2,496	9,519	△412	9,106

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	44,823	23,709	68,532	—	68,532
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	44,823	23,709	68,532	—	68,532
セグメント利益(注2)	5,843	1,414	7,258	△316	6,941

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。